

議 長	局 長 等	次 長	リ ー ダ ー	担 当	合 議
西田	陸	川	田		内 井

様式第6号 (第8条関係)

令和4年10月28日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 川瀬 稔

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和4年7月22日(金)～23日(土)
- 2 活動場所 岡山県総社市
- 3 活動目的 岡山市総社市 管外視察
- 4 活動内容 障がい者雇用と農福連携の取組について  
ハウス栽培と若手・担い手確保について
- 5 活動成果 別添付



## 5 活動成果

「障がい者雇用と農福連携の取り組みについて」

総社市 平成23年4月

「障がい者千人雇用」事業開始

平成29年5月

「障がい者千人雇用」を達成

平成29年9月

「障がい者千五百人雇用」事業として

再スタート

片岡総社市長と取組に至った経緯や趣旨について意見交換を行った。

本当に必要な支援を、当事者に届けられる仕組みを、地方部から実現し、国全体の政治のあり方を変えたいという強い意志をもって市長自ら真向から取り組んでくれた。

### 研修

○福祉課から雇用推進の具体的な取組を聞く福祉就労から一般就労への移行には、110-77内に、平成23年7月「就労支援ルーム」を設置し、「福祉から就労に向けてワンストップで付き添い

型の綿密な支援を実施している。

障がい者千五百人雇用センター」を市独自で設置し、登録者に対してマッチングから生活までマンツーマンでサポートを行うとともに、企業など就労先へアフターケアも担当し成果を大きく寄与している。

農福連携について。

就労継続支援A型、B型両方の事業所がありNPO法人が運営する場所で昼食をとったか、農産物が出しあり、法人拠点の除草作業なども委託されており、市内における障がい者雇用と農福連携が、根付いていた。

障がい者千五百人雇用の目指すもの。

ライフステージの一貫した支援で、乳幼児・就学期、青年壮年期(就労期)、高齢期に至るまでの支援で、障がい者一人ひとりが自立し、安心して地域で暮らせる社会の実現であり、全国屈指の福祉先駆都市の実現の礎ともなる総都市の取組を勉強さしてもらい、議員活動にっなげていきたい。

。「ハウス栽培と若手担い手確保について、  
JA山手セロリ・メロン生産者組合長と  
JA担当者との意見交換を行なった。

総社市の特産品であるセロリ・メロン、  
メロンは、セロリの裏作として約40年前から栽  
培されている。

（現在6名の組合員農家が51アールの圃場で年間  
約76トンを生産、出荷をしている。

JA晴れの国岡山では、Uターンも含めた移  
住者の就農支援にも力をいれて、若手担い手  
確保の取り組みを行っている。

（JAの担当者も、実際に就農して農業に取り  
組んでいく中で体験や見習い期間にその厳しさ  
も伝えながら手助けし、担い手確保に力をそ  
とぎ、地道に頑張っておられた。